

口頭発表

「家族」としてのペットへの期待 (第2報)

古川勝也*

山口県山口健康福祉センター

Expectations for the pet animal as a family (second report)

FURUKAWA Katsuya*

緒言

現代日本社会において、ペットは「家族」として認識されているが、ペットの遺棄も後を絶たない。本研究は、飼い主がペットを捨てる心の動きのモデル化への第一歩として、飼い主が何を期待してペットを飼っているかを、「ペットは家族の一員」という言葉の捉え方から探ろうとしたものである。

方法

インターネット上の質問サイト『Yahoo! 知恵袋』における、2004年～2011年の「ペットは家族の一員か否か」の議論における688発言のうち、「ペットは家族の一員」と明言している327発言、否定している147発言、明言していない18発言、および無関係な196発言について、KJ法により整理した19の発言群間の関連を、テキストマイニングソフト「KH Coder」を用い、多次元尺度法によって分析した。各発言群とその属性については表1のとおりである。

結果

「ペットは家族の一員」と明言している発言群のうち、「理由不明」群を除く8発言群の関連度は比較的高かった。また、「ペットは家族の一員ではない」と明言している発言群は、「ペットは家族の一員」と明言している発言群との関連度は低く、各発言群間の関連度も低かった。(図1)

考察

「ペットは家族の一員」という意識が、飼い主の発言パターンに何らかの影響を与えていることが示唆された。今後、本研究の結果を元に、ペットの適切な家

表1 688 発言の内訳

「ペットは家族の一員」と明言 (325発言)
人間の代替/心の支え/飼っているうちに愛着がわく/生き物の面倒を見る責任感/家族だと思えば家族/当然/かわいいから/食べないから/
「ペットは家族の一員ではない」と明言 (147発言)
種の違い/人間の都合/別の存在/違和感/法的問題/思い入れがない/言葉の問題/人間のほうが大事
態度を明らかにしない (18発言)
無関係な発言(「荒らし」など) (198発言)

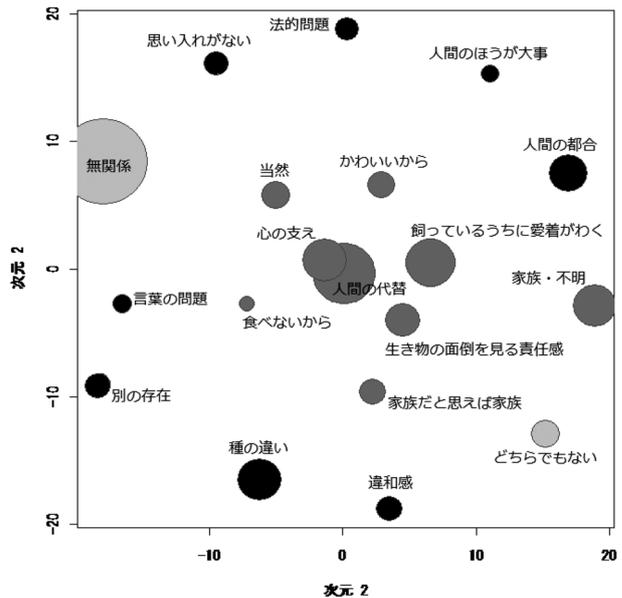


図1 多次元尺度法による各群の関係

族化がペットの遺棄防止につながる可能性について検討していきたい。

謝辞

本研究の対象とさせていただいた発言者の皆様に、この場を借りまして深く御礼申し上げます。

* 連絡先: kat@mtb.biglobe.ne.jp